

2016年 10月

中国四国農政局
徳島県拠点

News Letter

とくしま特選ブランド認定 生しいたけ「しいたけ侍」 ～新野木材株式会社～

「とくしま特選ブランド」は、一次産品、加工食品、伝統工芸品部門の中から、「世界に誇れるトップブランド」として、国内外に誇れる品質、商品ストーリー、独自のこだわり等の特徴を持つ徳島を代表する優れた県産品をコンセプトに、県内に在住又は県内に主たる事業所を置く事業者で、原則として生産・製造を自ら行っていること等を要件として、安全安心への取組等の複数の審査を通過したものだけが、2年間、認定される徳島県のブランドで、現在、計39点が認定されています。



贈答用黒箱「しいたけ侍」



収穫前の菌床しいたけ

「拙者は、阿波の國のしいたけ侍と申す。煮るなり焼くなりお任せ致し候」のユニークなフレーズとともに、肉厚で美味いと人気の生しいたけを生産・販売している会社が、徳島県阿南市新野町にある新野木材株式会社です。

同社は、製紙用の木材チップ及びしいたけ栽培用オガコチップの販売と、生しいたけの生産販売を主な業務としています。

昭和20年代に会社を設立。その後、製紙用の木材チップを主な業務としていましたが、昭和の終り頃、しいたけは、原木栽培が主流の中、徳島県内の一部で菌床栽培を始めた方がいました。

そこで、栽培者の方と協力し、菌床の元となるオガコ・ザラメチップの開発に取り組み成功、供給を行う一方で菌床仕込機械の開発やハウス栽培での空調設備の試験的導入を行い、自社でしいたけ栽培にも着手、それから25年経過した現在、生しいたけ400トン、菌床ブロック80万個を生産する規模となっています。

平成17年には、栽培方法に係る生産・品質管理のマニュアルについて国際標準規格ISO9001認証を受け、独自の施設管理機の開発等、安全管理にも努め、平成20年には、「しいたけ侍」を商標登録し、高品質なしいたけを供給できる体制を確立しました。

いつも一歩先を考え歩んで来られた新野哲朗代表取締役は苦労した点や今後の抱負を伺うと、「高品質で美味しいものを提供するため、生産から販売まで一貫して行ってきました。しかし、当時の市場での販売形態は、良い物もそうでないものも同条件で重さ売り。重さベースでパッケージすると、水分量を減らし肉厚で旨みを凝縮した当社独自のしいたけは、水分量が少ない分たくさん入れる必要があり、全く割に合わないことから箱売り、個売り等の販売形態の変更に取り組みました。

また、水分量を減らすことは、その分、しいたけが小さくなるため、高規格の「しいたけ侍」を名乗ることができるのは、400トンのうち、約3分の1程度。現在、菌床栽培の生しいたけは、徳島が全国で一番であるものの、今後も高品質の生しいたけを継続して生産できるようにするため、将来的には、事業者の育成に取組みたい。」と強く静かに語ってくれました。



新野哲朗 代表取締役

新野木材(株)きのこ事業部 <http://www.shinno.co.jp/jigyou2.html>

平成28年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況を公表しました

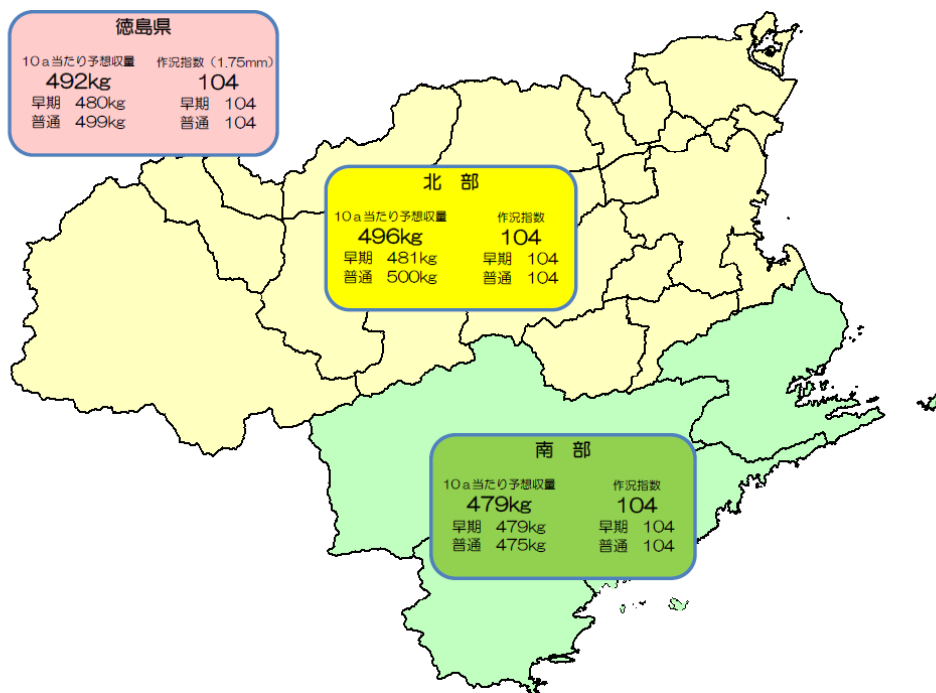
中国四国農政局は、9月30日、平成28年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況を公表しました。

徳島県の平成28年産水稻の作付面積(青刈り免責を含む。)は、1万2,700haで、うち主食用作付見込面積は1万1,500haと見込まれます。

また、9月15日現在における10a当たり予想収量は492kgで、農家等が使用しているふるい目幅ベース(1.75mm)の作況指数は104(やや良)と見込まれます。

作期別では、早期栽培が480kgで104(やや良)、普通栽培が499kgで104(やや良)と見込まれます。

主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は、5万6,600tと見込まれます。



詳しくは、中国四国農政局ホームページを御覧ください。
http://www.maff.go.jp/chushi/info/toukei/00chushi/pdf/280915_36.pdf

「6次産業化・農商工連携フォーラム」の開催について

趣旨

6次産業化や農商工連携の取組は、農山漁村において、新たな所得や雇用を創出し、地域の活性化につながる重要な取組です。このため、これらの取組に対して、農林水産省と経済産業省は協力して、農林漁業者及び中小企業者の取組を支援してきたところです。

6次産業化や農商工連携の更なる取組の推進を図るため、農林水産省と経済産業省の共催により、平成28年度に全国10か所において「6次産業化・農商工連携フォーラム」を開催します

開催概要

- 中国ブロック (1) 開催日時 平成29年2月で調整中※
(2) 開催場所 調整中※

※日程、会場については決定次第、農林水産省及び中小企業庁のホームページに掲載します。
農林水産省 (<http://www.maff.go.jp/j/shokusan/sanki/6jika/161014.html>)
中小企業庁 (<http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/noushoko/index.html>)

- 四国ブロック (1) 開催日時 平成29年2月15日(水) 13:00~16:30予定
(2) 開催場所 高松サンポート合同庁舎アイホール
(高松市サンポート3-33高松サンポート低層棟2階)

お問合せ先及び参加申込み

<中国> 問合せ先: 中国四国農政局経営・事業支援部地域連携課 電話番号:086-224-9415
中国経済産業局産業部経営支援課 電話番号:082-224-5658

参加申込み:後日告知

<四国> 問合せ先: 中国四国農政局経営・事業支援部地域連携課 電話番号:086-224-9415
四国経済産業局産業部中小企業課新事業促進室 電話番号:087-811-8562

参加申込み:1月中旬から開始予定

詳しくはこちらを御覧ください → <http://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/renkei/161014.html>

編集:中国四国農政局 徳島県拠点

〒770-0943 徳島市中昭和町2丁目32

TEL (088)622-6131(内線214) FAX(088)626-2091

◆各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから)

<農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/>

<http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>